

JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」



北海道ポラコン(株)からの提案を採択 －インドネシアでの案件化調査－

国際協力機構（JICA）は、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」2020年度第1回公募において北海道ポラコン(株)（本社：札幌市、中島康成 代表取締役、Tel.011-251-4566）からの提案（案件名「インドネシア国 膨張性粘土および軟弱地盤地域におけるインフラ被害への多孔質コンクリート製品導入の案件化調査」）を9月24日、採択しました（※道内企業の採択案件数は、本案件を含め、2件）。

北海道ポラコン(株)は透水性等に優れた多孔質コンクリート製品のメーカーであり、雨水処理に関する設計技術・ノウハウも有しています。自社の優れた製品・技術を経済成長が著しいアジア諸国などでビジネス展開し、その国の水にまつわる課題を解決していきたいという経営方針を掲げています。

同社は、すでに2018年度第1回公募でJICA「基礎調査」に採択され、インドネシアで膨張性粘土によるインフラ施設破壊の現状を調査するとともに、ビジネス展開に必要な情報収集を行っています。今回の「案件化調査」では、多孔質コンクリート製品と雨水処理工法の普及に向けたビジネスモデル策定のための調査を行います。

JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」は、日本の企業が有する製品・技術等の開発途上国での活用可能性の調査・実証を通し、企業の海外展開と開発途上国の課題解決を目指すものです。今後、JICAは採択企業と契約交渉を行い、順次業務委託契約を締結し、現地のコロナ感染状況を見極めたうえで現地調査を開始します。



（写真：（左）多孔質コンクリート製品／北海道ポラコン(株)、（右）道路舗装破壊の様子／インドネシア公共事業省）

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
北海道センター（JICA 北海道）
2020年10月9日

【本件に関する問合せ先】

JICA 北海道 市民参加協力課 担当：中野

TEL：011-866-8421 E-mail：Nakano.Satoshi2@jica.go.jp